

令和8年度  
北海道大学大学院理学院  
修士（博士前期）課程  
冬期

自然史科学専攻  
科学コミュニケーション講座

入学試験  
（専門科目）

問題

- ◎解答用紙2枚のいずれにも受験番号と氏名、選択した問題番号を記入し、試験終了後に2枚とも提出してください。
- ◎各問題の出典となっている文献を試験中に参照することはできません。



**問題** 以下の 8 題のうちから 2 題を選び、それぞれ 800 字～1200 字程度で解答しなさい。

**テーマ「科学哲学」からの出題**

1. 科学的実在論論争における、ラウダンとスタンフォードの反実在論の主張はどこが違うか。主な点を説明しなさい。

**テーマ「統計の哲学」からの出題**

2. 統計学におけるベイズ主義と頻度主義の歴史的論争のうち、主なものを二つ取り上げ、それぞれの立場に即して内容を述べなさい。

**テーマ「科学技術コミュニケーション」からの出題**

3. 科学的専門知はしばしば人々を議論から排除し、ヒエラルキーを生み出す装置として機能する。これによって生じる市民の科学への態度について、失望と無力感・思い込み・疑念の三点から説明しなさい。

**テーマ「科学技術社会論」からの出題**

4. 「幹細胞 Hype」という概念を、メディアとの関係と科学者の役割に着目して説明しなさい。その上で、この Hype がもたらす利点と問題を説明しなさい。

**テーマ「コミュニケーション・メディア」からの出題**

5. オープンエデュケーションが推進される背景について、理念的側面と実利的側面の双方について説明しなさい。

**テーマ「コミュニケーション・メディア」からの出題**

6. オープンエデュケーションが教育のイノベーションに与える影響について、デジタル化・オープン化双方の観点から説明しなさい。

**テーマ「学習科学」からの出題**

7. 学習科学がなぜ実験群と対照群の比較をしない実験デザインを採用しているのかについて論述しなさい。

**テーマ「自己調整学習」からの出題**

8. 学習の調整における社会的側面について、共調整学習 (co-regulation of learning) および社会的に共有された調整学習 (socially shared regulation of learning) を取り上げながら論じなさい。